

令和4（2022）年度第1回西脇市男女共同参画審議会（書面会議）の結果報告について

1 会議の成立

全ての委員（11名）から書面の提出がありましたので、過半数以上の出席（書面提出者を出席者とみなす。）を満たす結果となり、会議が成立したことを報告いたします。

2 協議結果

(1) 次第3：会長及び副会長の選出について

事務局一任により下記のとおり選出、承認されました。

会 長： 横 山 由 紀 子 委 員

副会長： 蓮 池 昌 美 委 員

(2) 次第4：西脇市男女共同参画センター事業について

ア 令和3（2021）年度事業実施状況（資料1）

【質問】

- No.12（5ページ）「女性起業塾～ちいさなビジネスの起業準備“家庭教師”～」の【振り返り】の中で、「これまで2名の女性起業家を輩出」とあるが、近隣市町の状況はどうか。また、新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」）の影響はどうか。

⇒ 近隣の市町では、同様の事業（市単独）の実施はありません。今後も起業家の更なる輩出に向け、事業を進めてまいります。また、コロナの影響について、当事業では影響は感じられません。

【意見】

- No. 1 (1 ページ) の落語・講演会「女らしくなく、男らしくなく、私らしく」は高齢者の方へのアプローチが難しい中で、非常にいい企画だと思う。無理に若い世代の参加者を広げる努力をするよりは、より多くの高齢者の方の参加を目指す方がいいように思う。
- No. 11 (5 ページ) の起業に関するサポート事業「起業女性のための応援交流会～つながりカフェ～」は新しい企画で、かつ、交流の場となる非常に素晴らしい企画だと思う。
- No. 16 (7 ページ) のパパ応援セミナー「パパの子育て・家族の子育て」は、「会場受講」と「オンライン受講」のハイブリッド形式での開催が素晴らしいと思う。特に男性向けの（体験型ではない）講座は、オンライン参加できると心理的ハードルを下げてくれると思う。
- コロナ禍で事業の延期・中止等を余儀なくされることもありましたが、衛生面等細心の注意をしながら可能な限り、通常に戻せるようお願いいたします。
- コロナ禍でも少しずついろいろな事業ができたことが、ありがたいと感じる。
- 男女共同参画啓発講座、講演会等では参加者も多く一定の成果があがっていると思われる。起業の事業についてもゲストスピーカーを入れるなど新しい取組があり良かった。継続は力である。工夫し新たな企画も組み入れて今後も集客に努めてもらいたい。
- いずれも多くの参加者があり、素晴らしいと思う。定着している活動やイベントも増え、継続の大切さを実感する。だからこそ「参加してほしい層」への告知方法の見直しも必要だと考える（特に講演会）。人数だけで充実度は測れないが、今後の課題ではないか。

イ 令和4（2022）年度予定事業（資料2）

承認 11名（委員全員）

西脇市男女共同参画審議会の承認が得られましたので、資料2のと通りの事業計画で進めさせていただきます。

【意見】

- 一覧表で見ると内容の幅広さがよく分かり、充実ぶりに改めて感心致します。男性の家事・育児の参画促進の中に、これからは「介護」も入るのではないかと考えます。

(3) 次第4：令和3（2021）年度DV相談等の状況について（資料3）

【質問】

- 増加した理由が知りたいです。

⇒ DV（ドメスティック・バイオレンス）については、こども福祉課が窓口となり対応しています。

DVの多くの場合が、配偶者やパートナー間の不仲や家庭内でのトラブルが起因となり、身体的暴力や言葉の暴力等を受けている事案です。

資料3の「1相談件数」ですが、令和2（2020）年度に増加し、令和3（2021）年度は一昨年とほぼ同様の状況となっています。

令和2（2020）年度からコロナ禍となり、家庭が経済困窮に陥ったことで、家庭内不和が起こったことや家庭内のストレスが高まったなど、その経緯を聞く中でコロナ禍の影響を受けたと考えられることもあります。

しかしながら、事案が起こった要因の判断は極めて困難であるため、一概に増加の要因がコロナ禍によるものとは言えないと考えています。

【意見】

- 資料3の「2 一時保護家庭数・女性家庭センター入所日数」の「一時保護（延べ件数）」が令和元（2019）年度以外は0件ということで安心している。
- DV相談件数が減少するのは良いことですが、社会情勢から判断して、少々疑問も残る。
- 昨年度は相談件数が減っているが、いつ増えてくるかわからないので、今後も注意深く見守っていただきたい。
- コロナ禍で相談件数が増加しているように感じる。原因について分析してみたい。生活の貧困や仕事の解雇が原因なら、その方向で動かないといけない。
- ニュースでしか目にする機会がないので、まだどこか遠い世界の話のような感覚だが、西脇市内でも相談が多いことに驚いている。男性向けの啓発セミナーや講座も必要になっているのかもしれないと考える。医療的な措置が求められるケースもあると聞く（「つい」手をあげてしまう、「やめられない」といった面）。

3 次第5：その他

【意見】

- 市民活動グループのメンバーとして、新たな企画ができるように頑張りたい。
- 子どもを対象としたお弁当講座等でのアレルギー対策は必要だと思う。その上で楽しく料理してもらいたい。
- コロナを通して「オンライン化」が進んだことはとても大きなメリットではないか。デジタルとの距離が縮まり、さらに「告知・周知」といった方面へも活用の幅が広がっていくことを期待している。